

第2期常陸大宮市創生総合戦略
令和4年度評価書

令和6年2月

常陸大宮市 企画部 企画政策課

目 次

本市の人口動向の状況について	1
第2期常陸大宮市創生総合戦略の評価について	2
基本方針1. しごとの創出・応援	3
基本方針2. 人の流れづくり	4
基本方針3. 結婚・主産・子育て応援	5
基本方針4. 魅力あるまちづくり	6
令和4年度 地方創生交付金事業等に係る評価書	8
令和4年度 地方創生応援税制活用事業評価書	10

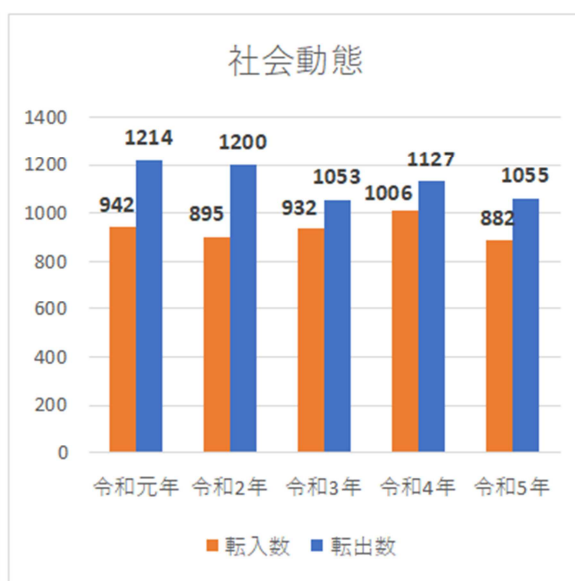
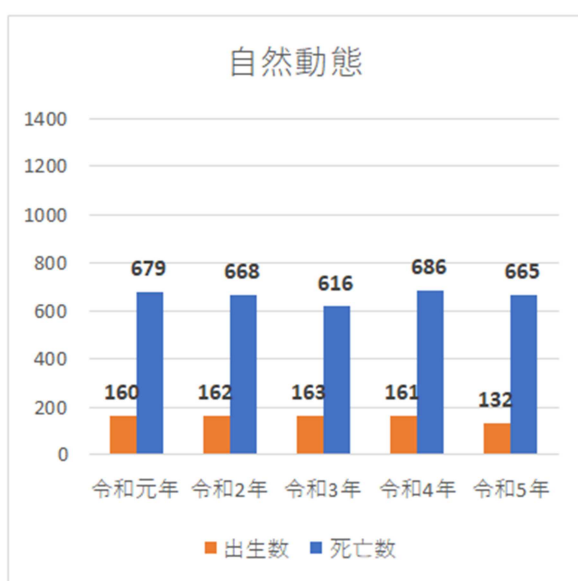
本市の人口動向の状況について

1 総人口の推移（常住人口）各年10月1日現在（単位：人）

令和元年	令和2年（国勢調査）	令和3年
39,904	39,267	38,640
令和4年	令和5年	
38,056	37,400	

2 人口動態の推移（常住人口）各年1月～12月（単位：人）

	自然動態			社会動態			人口増減
	出生数	死亡数	自然増	転入数	転出数	社会増	
令和元年	160	679	▲519	942	1,214	▲272	▲791
令和2年	162	668	▲506	895	1,200	▲305	▲811
令和3年	163	616	▲453	932	1,053	▲121	▲574
令和4年	161	686	▲525	1,006	1,127	▲121	▲646
令和5年	132	665	▲533	882	1055	▲173	▲706



第2期常陸大宮市創生総合戦略及び地方創生関連事業の評価手法について

1 創生総合戦略の事業評価について

第2期創生総合戦略に位置づく事業は、原則、総合計画重点事業計画に位置づけていることから、総合計画重点事業計画の評価及び事業の方針をもって事業評価とする。(評価区分及び事業の方針は、下記の表1・表2のとおり)

また、国の地方創生関係交付金等の支援を受けた事業(地方創生推進交付金事業、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業等)については、別途評価を行うものとする。

■表1(創生総合戦略における事業の評価区分)

進捗状況	評価区分
達成度：100%以上	A 期待どおりの成果
達成度：80～99%	B 概ね期待どおりの成果
達成度：50～79%	C 期待した成果を下回っている
達成度：50%未満	D 期待された成果があがっていない

■表2(今後の方針区分)

方針	
A 拡充	B 現行どおり
C 見直し	D 縮小
E 休止・廃止	F 完了
G 統合	

2 創生総合戦略の評価について

第2期創生総合戦略の評価は、基本方針ごとに設定した基本目標の達成状況及びKPIの達成状況、並びに第2期創生総合戦略位置付け事業の評価結果等を勘案して評価するとともに、今後の事業方針を決定するものとする。

第2期常陸大宮市創生総合戦略の評価

基本方針1. しごとの創出・応援

1 取組の概要と評価

起業サポート事業において、常陸大宮市商工会との連携を密に行ったほか、充実した創業支援セミナーの開催や、創業支援事業費補助金の交付を行うなど、起業（創業）希望者への各種支援に取り組んだことから、令和3年度に続き、基準値を超えることができた。

2 今後の取組方針

引き続き、創業支援事業計画に基づき事業を推進していくとともに、創業支援事業者である常陸大宮市商工会と連携し、創業希望者を増やすためのPRを積極的に進めていく。

また、企業誘致について、市内工業団地は全区画売却ができたことから、今後の企業誘致のあり方や方向性などを検討していく必要がある。

○基本目標

基本目標	基準値	実績			目標値
	H28	R2	R3	R4	R6
市内従業者数 ※経済センサス(5年周期)	15,763人	15,763人	15,113人	15,113人	16,000人

○KPI（重要業績評価指標）

KPI	基準値	実績			目標値
	H30	R2	R3	R4	R6
新規創業・起業数 (年間) ※創業支援事業費補助金交付件数	2件	3件	6件	6件	9件
KPI	基準値	実績			目標値
	H30	R2	R3	R4	R6
市内法人設立届出数(年間) ※法人の設立に関する届出件数	22件	7件	19件	11件	30件

基本方針 2. 人の流れづくり

1 取組の概要と評価

新型コロナウイルス感染症対策のために事業を中止としている友好都市交流事業や、地域間交流事業を実施することができ、秋田県大館市や豊島区などとの交流を深めることができた。

また、住宅取得奨励金の交付件数についても継続して伸びているほか、令和3年度から取り組んでいるサイクルツーリズムの促進についても成果を上げており、着実に人の流れづくりにつなげることができている。

2 今後の取組方針

令和5年度からは、新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつも、御前山ダム周辺活性化への取組や、各種イベントの再開などを通し、さらなる交流人口の増加を目指す。

○基本目標

基本目標	基準値	実績			目標値
	H30	R2	R3	R4	R6
社会増減数（年間1月～12月） ※茨城県常住人口調査	▲243人	▲305人	▲121人	▲121人	▲50人

○KPI（重要業績評価指標）

KPI	基準値	実績			目標値
	H30	R2	R3	R4	R6
観光入込客数（年間） ※茨城県観光客動態調査報告	約144万人	約107万人	約111万人	約125万人	約170万人
KPI	基準値	実績			目標値
	H30	R2	R3	R4	R6
定住促進のための住宅取得奨励金制度活用件数（年間）	92件	81件	95件	105件	120件

基本方針 3. 結婚・出産・子育て応援

1 取組の概要と評価

不妊に悩む方への治療費の助成のほか、マタニティサポート等の各種支援事業により、安心して出産できる環境づくりに取り組んだ。さらに、子育て支援の分野では、学童保育の充実や、こどもセンターを中心として、子育て世代のニーズ把握とその対応に努めるなど、妊娠・出産から子育て支援まで、切れ目のない体制の充実・強化に取り組むことができた。

教育環境については、新型コロナウイルス感染症の拡大による学習面への影響は小さくなくなったものの、教育環境の充実に向け、NRT（標準学力検査）やAIドリル等の導入をしたことで、関連するKPIについては現状を維持できた。

2 今後の取組方針

引き続き、仕事と子育てを両立できる環境の向上のため、放課後などに子どもを預けられる体制の充実を図っていく。

また、児童生徒の学力向上のため、オンラインでの家庭学習ソフトの活用について保護者の理解を促進するとともに、各種ツールを活用できるよう、若手教職員の育成に力を入れていく。

○基本目標

基本目標	基準値	実績			目標値
	H30	R2	R3	R4	R6
出生数（年間1月～12月） ※茨城県人口動態統計	226人	162人	163人	161人	240人

○KPI（重要業績評価指標）

KPI	基準値	実績			目標値
	H30	R2	R3	R4	R6
有配偶率（20～39歳女性）※国勢調査	45.20%	41.55%	41.55%	41.55%	48.00%
KPI	基準値	実績			目標値
	H30	R2	R3	R4	R6
子育て環境に対する満足度（未就学児保護者） ※令和2年度まちづくりに対するアンケート調査	27.90%	31.70%	31.70%	31.70%	33.00%

KPI	基準値	実績			目標値
	R1	R2	R3	R4	R6
授業がわかりやすいと思う児童生徒の割合 (小学生、中学生) ※文部科学省 全国学力・学習状況調査	78.10%	79.10%	80.25%	79.20%	80%以上

基本方針4. 魅力あるまちづくり

1 取組の概要と評価

医学部に通う学生への修学資金貸付けや寄附講座設置などの医師確保対策により、常陸大宮市済生会病院の勤務医師の確保を進め、医療体制の向上を図ることができた。

一方で、地域公共交通維持活性化事業では目標値を達成することができなかった。今後は、令和5年2月に策定した常陸大宮市地域公共交通計画に基づき、公共交通サービスの維持確保を図っていく。

2 今後の取組方針

まちの機能の充実と安心な暮らしのため、引き続き常陸大宮駅周辺整備事業や防犯対策事業等に取り組むとともに、併せて大宮運動公園市民球場の整備に取り組むことで、魅力的なまちづくりを推進していく。

また、地域の持続可能性を高めるため、本市のまちづくりの担い手の育成や、市民がまちづくりに参画しやすい協働の仕組みづくりを進める。

○基本目標

基本目標	基準値	実績			目標値
	R1	R2	R3	R4	R6
住み続けたい市民の割合 ※創生総合戦略策定等にかかる市民アンケート調査	44.50%	69.60%	69.60%	69.60%	50.00%

○KPI（重要業績評価指標）

KPI	基準値	実績			目標値
	R1	R2	R3	R4	R6
市内での暮らしの満足度 ※令和2年度まちづくりに対するアンケート調査	63.10%	72.10%	72.10%	72.10%	71.00%

KPI	基準値	実績			目標値
	R1	R2	R3	R4	R6
地域の行事・活動への参加割合 ※令和2年度まちづくりに対するアンケート調査	66.50%	44.90%	44.90%	44.90%	72.00%
KPI	基準値	実績			目標値
	R1	R2	R3	R4	R6
若者のシビックプライド (市への愛着や誇り) ※令和2年度まちづくりに対するアンケート調査結果	77.90%	66.90%	66.90%	66.90%	90.00%

担当部課等	地域創生部地域創生課
-------	------------

1 事業概要

事業名	いばらきサイクルツーリズム推進強化事業 (市事業名：自転車活用推進事業)		交付金の種類	
			地方創生推進タイプ	
当該年度概算事業費 / 当該年度概算事業費 決算額	概算事業費592千円/決算額571千円 (推進交付金対象経費 527,800円 交付額(対象事業費の1/2 263,900円))			
市総合戦略における位置付け	基本方針	2. 人の流れづくり		
	施策	4. 関係人口の創出と観光・交流の促進		
	基本目標KPI	社会増減数		
		基準値	目標値	
		▲243人(平成30年：2018年)	▲50人(令和6年：2024年)	
	施策目標KPI	観光入込客数		
基準値		目標値		
	約144万人(平成30年：2018年)	約170万人(令和6年：2024年)		
事業目的	近年、自転車を活用して地域を巡り、地域の魅力を体験するサイクルツーリズムの取組みが活発化している。本市においても、自転車活用の有効性などを広く市民に浸透させつつ、安全に快適な自転車利用の環境整備を進め、サイクルツーリズムの推進による交流人口の増加や地域の活性化を図る。			
事業期間	令和3年度～	完成時期(拠点)	-	
事業内容 (令和4年度)	県、奥久慈里山ヒルクライムルート利活用推進協議会と連携し、サイクルツーリズムの取組を実施する。 ・サイクルサポートステーションの設置 (駐車ラック、空気入れ、修理用工具等の配備) ・奥久慈里山ヒルクライムルートのPR活動			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況等

(1) KPIの達成状況

KPI項目		R3	R4	R5	R6
①サイクルサポートステーションの設置(令和3年度)	目標値	①20件	②30回	②50回	②70回
②市サイクリングコース走行回数(令和4年度～)	実績値	①28件	②84回	—	—

(2) 事業評価

事業の評価	事業の評価の理由及び課題
総合計画評価	サイクルサポートステーションの設置などにより環境整備が進み、市サイクリングコースの走行回数が目標値を大きく上回ったため。
A期待したとおりの成果	
地方創生評価	
A地方創生に非常に効果的であった	

3 今後の取組

方針	主な取組
現行どおり	今後は、サイクルツーリズムの推進に加え、子どもなどを対象とした自転車に触れ合うきっかけづくりを行い、自転車活用を推進していく。

担当部課等	地域創生部定住推進課
-------	------------

1 事業概要

事業名	つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト (市事業名：移住・定住促進事業)		交付金の種類	
			地方創生推進タイプ	
当該年度概算事業費 / 当該年度概算事業費 決算額	概算事業費83,428千円/決算額84,303千円 (推進交付金対象事業費7,839千円 交付金(対象事業費の1/2)3,919千円)			
市総合戦略における 位置付け	基本方針	2. 人の流れづくり		
	施策	4. 移住・定住の促進		
	基本目標KPI	社会増減数		
		基準値	目標値	
		▲243人(平成30年：2018年)	▲50人(令和6年：2024年)	
	施策目標KPI	定住促進のための住宅取得奨励金交付制度の活用件数(年間)		
基準値		目標値		
	92件(平成30年：2018年)	120件(令和6年：2024年)		
事業目的	県が中心となり首都圏において効果的な情報発信や移住相談等の取組みを進めることで、市町村における関係人口の創出や移住促進施策に取り組みやすい環境づくりが図られることから、県や関係機関と積極的に連携する。また、移住を中長期的な視点で捉え、まずは本市への興味関心を高め、「交流人口」の拡大を図る。さらに、段階的に地域との交流や関係性を深めていき、地域との多様な関わりを持つ「関係人口」の創出を図ることで、将来の移住につなげる。			
事業期間	令和4年度～	完成時期(拠点)	-	
事業内容 (令和4年度)	県や関係機関と連携し、移住促進に向けた積極的な情報発信と相談体制の強化を図りながら、移住体験ツアーやセミナー等を通して、本市への来訪機会(市の魅力を体験する機会)を提供し、移住希望者の興味関心を高めることで、将来の移住につながる取組を効果的に挙げる。合わせて定住促進に向けた住宅取得奨励金の交付や関係部局と連携して各種支援策の充実を図る。 【地方創生推進交付金対象事業】 ・移住体験事業の実施(移住体験ツアー・移住セミナー) ・移住ガイドブックの作成 【主な市独自事業】 ・定住促進に向けた住宅取得奨励金の交付 ・首都圏の交流自治体を対象とした日帰り体験ツアーの開催			

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況等

(1) KPIの達成状況

KPI項目		R4	R5	R6
定住促進のための住宅取得奨励金申請者の件数	目標値	92件	92件	92件
	実績値	105件	-	-

(2) 事業評価

事業の評価	事業の評価の理由及び課題
総合計画評価	移住体験事業では、移住体験ツアー希望者を対象としたオンライン説明会を実施したほか、移住体験ツアーにおいては、本市の産業である林業や農業体験等を行うとともに、本市で活躍する移住者との交流の機会を創出したことで関係人口の拡大に繋げることができた。また、本事業参加者が本市での新規就農に繋がった。 また、移住ガイドブックを作成し移住・交流情報ガーデン及びふるさと回帰支援センターに設置することで、移住希望者への情報発信を強化した。 市独自事業である定住促進に向けた住宅取得奨励金については、市外からの移住者の増加に効果的な事業である。
A期待したとおりの成果	
地方創生評価	
B地方創生に相当程度効果があった	

3 今後の取組

方針	主な取組
拡充	農業希望者や田舎暮らし希望者をターゲットにした移住体験ツアーを実施するとともに、都内での移住セミナーへ参加し情報発信、移住相談を行う。 また、LINEでの移住相談窓口を開設し、相談対応の拡充を図る。

担当部課等	農林振興課・商工観光課
-------	-------------

1 事業概要

事業名	道の駅常陸大宮遊具設置 (市事業名：道の駅常陸大宮管理事業)		交付金等の種類
			企業版ふるさと納税
事業費及び寄付額	<p>【令和4年度】</p> <p>予算額：35,596,000円(工事請負費)</p> <p>事業費：32,252,000円(工事請負費)※R4+R5繰越</p> <p>当年度支払額：12,672,000円(前払い金)／繰越 22,924,000円</p> <p>決算額：19,580,000円(R5年度支払)</p> <p>【寄付企業・寄付額】</p> <p>株式会社ビジョン 計20,000,000円</p> <p>(①令和4年12月28日10,000,000円 ②令和5年1月31日10,000,000円)</p>		
市総合戦略における位置付け	基本方針	3. 結婚・出産・子育て応援	
	施策	6. 出産・子育て応援	
	関連KPI等	基準値	目標値
	子育て環境に対する満足度	27.9% (平成30年：2018年)	33.0% (令和6年：2024年)
事業目的	道の駅常陸大宮(かわプラザ)の屋外広場に新たな遊具を設置することにより、子供連れの家族が訪れ、新たな交流人口の拡大と施設の利用促進を図る。		
事業期間	令和3年度～	完成時期(拠点)	令和5年5月
事業内容 (令和3年度)	道の駅常陸大宮にインクルーシブ遊具を設置する。 設置遊具 3基 ・ウイホッパ (シーソー) ・ホイールチェアカールセル (回転遊具) ・トランスイング (ブランコ)		
事業内容 (令和4年度)	道の駅常陸大宮にインクルーシブ遊具を設置する。 設置遊具 2基 ・モーターコンピネーションSP (大型遊具) ・サーキットコース (ゴムチップ舗装) ・その他 (三輪車等)		

2 本事業における重要業績評価指標(KPI)の達成状況等

(1) KPIの達成状況

KPI項目		R3	R4	R5	R6
①総売上額 ②売上額(直営部分のみ)	目標値	①444,000千円	①444,000千円	②289,600千円	②295,300千円
	実績値	①453,191千円	①480,440千円	—	—

(2) 事業評価

事業の評価	事業の評価の理由及び課題
B概ね期待どおりの成果	外国製受注生産品のため、遊具製作及び輸入に不測の日数を要し、繰越となったが、令和5年5月下旬には設置を完了した。
B地方創生に相当程度効果があった	
方針	完了

担当部課等	こども課
-------	------

1 事業概要

事業名	乳児育児用品購入助成事業		交付金等の種類	
			企業版ふるさと納税	
事業費及び寄付額	<p>【令和4年度】 予算額：3,689,000円（委託料） 事業費：3,474,000円（委託料）</p> <p>【寄付企業・寄付額】 株式会社 Kingdom Entertainment（寄附金額非公開）</p>			
市総合戦略における位置付け	基本方針	3. 結婚・出産・子育て応援		
	施策	6. 出産・子育て応援		
	関連KPI等	基準値	目標値	
	子育て環境に対する満足度	27.9%（平成30年：2018年）	33.0%（令和6年：2024年）	
事業目的	少子化対策の一環として、子育て世帯の経済的負担を軽減し、出生数、転入者の増加を図るため、1歳未満の子どもがいる世帯に対し、乳児育児用品（オムツ等）の購入費用を助成する。			
事業期間	令和4年度	完成時期（拠点）	-	
事業内容（令和4年度）	乳児一人当たり1回を限度として、20,000円の乳児育児用品購入助成券を交付する。			

2 本事業における重要業績評価指標（KPI）の達成状況等

(1) KPIの達成状況

KPI項目		R4	R5	R6
交付対象乳幼児数	目標値	270人	220人	220人
	実績値	154人	-	-

(2) 事業評価

事業の評価	事業の評価の理由及び課題
C期待した成果を下回っている	国全体の出生数の減少が加速化していることもあり、目標には及ばなかったが、市の総合的な少子化対策のひとつとして今後も継続する。
C地方創生に効果があった	
方針	現行どおり

担当部課等	文化スポーツ課
-------	---------

1 事業概要

事業名	大宮運動公園市民球場整備事業		交付金等の種類
			企業版ふるさと納税
事業費及び寄付額	<p>【令和4年度】 予算額：301,400,000円（工事請負費） 事業費：301,400,000円（工事請負費）</p> <p>【寄付企業・寄付額】 ・オフィスC.A株式会社（寄附金額非公開） ・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（寄附金額非公開） ・株式会社セコマ（寄附金額非公開） ・根本電興株式会社 5,000,000円 ・株式会社国分電機 1,000,000円 他1社</p>		
市総合戦略における位置付け	基本方針	4. 魅力あるまちづくり	
	施策	10. まちの活力と多様な魅力の創出	
	関連KPI等	基準値	目標値
	若者のシビックプライド	77.9%（平成30年：2018年）	90.0%（令和6年：2024年）
事業目的	経年による施設の老朽化に伴い、大規模な改修（暗渠排水・スコアボード）を行うことで、県内野球施設との差別化を図り、大会誘致や多目的利用を可能とし、利用率の向上を目的とする。		
事業期間	令和4年度～	完成時期（拠点）	令和6年3月
事業内容（令和4年度）	市民球場の改修工事を実施する。 ・全面人工芝化 等		
事業内容（令和5年度）	市民球場改修工事を実施する ・バックスクリーン改修 ・緩衝材の改修 ・フルスクリーンLEDビジョンスコアボード新設 等		

2 本事業における重要業績評価指標（KPI）の達成状況等

(1) KPIの達成状況

KPI項目		R4	R5
整備進歩率	目標値	50%	100%
	実績値	50%	

(2) 事業評価

事業の評価	事業の評価の理由及び課題
A期待したとおりの成果	県内野球施設との差別化を図り、大会誘致や多目的で利用できることを市内外にPRを行い、利用率の向上を図る。
B地方創生に相当程度効果があった	
方針	現行どおり